

宝塚市水道ビジョン2025

～安全で安心な水道を未来へつなぐ～



平成28年(2016年)12月

宝塚市上下水道局

はじめに

宝塚市では、「心豊かに健やかな生活をささえる水道をめざして」を水道事業の将来像（基本理念）とする「宝塚市水道マスタープラン」を平成 21 年（2009 年）2 月に策定し、①安全で安心できる水道、②お客さまに信頼される水道、③将来も安定が保てる水道、④環境に配慮する水道、⑤国際協力に貢献する水道を事業の目標に掲げ、水道施設の整備や事業運営を行ってきました。しかし、近年、水道事業をとりまく状況が大きく変化しました。

人口の減少、節水機器の普及などにより、水需要が減少傾向に転じることに加え、水道施設、水道管路などの更新費用の増大が見込まれており、水道事業をとりまく環境は大変厳しい局面を迎えることが予想されています。

また、東日本大震災や想定を超える自然災害が発生し、これらの災害の経験を踏まえ、水道においても、自然災害に対する一層の危機管理の強化が求められています。

このような状況の中、国（厚生労働省）においては、平成 25 年（2013 年）3 月に従来水道ビジョンを全面的に見直し、水道の理想像を明示した「新水道ビジョン」を策定しました。宝塚市においても、宝塚市水道マスタープランの計画期間が満了することに合わせて、これまでの事業の進捗状況や情勢の変化を踏まえ、新たに「宝塚市水道ビジョン 2025」を策定することとしました。策定に当たっては、宝塚市上下水道事業審議会に諮問し、平成 27 年（2015 年）12 月から審議をいただきました。

今後は、本ビジョンを基に、事業の推進を図っていくこととなりますが、水道事業をとりまく環境の変化に適切に対応するとともに、必要に応じた見直しを行い、引き続き安全で安心できるおいしい水の安定供給に努めてまいります。



宝塚市上下水道局の水道キャラクター
「スイッピー」

目 次

第 1 章 宝塚市水道ビジョン 2025 の策定に当たって.....	1
1-1 策定趣旨.....	1
1-2 位置付け.....	1
1-3 目標年次.....	2
第 2 章 宝塚市水道マスタープランの進捗評価.....	3
1 <安全で安心できる水道>	4
1-1 きめ細かな水質管理.....	4
2 <お客さまに信頼される水道>	5
2-1 いつでもどこでも安定供給	5
2-2 災害・事故への備え.....	10
3 <将来も安定が保てる水道>	13
3-1 効率的な健全経営.....	13
3-2 職員の資質向上.....	15
3-3 お客さま・利用者サービスの向上.....	16
4 <環境に配慮する水道>	17
4-1 省エネルギーの推進.....	17
4-2 環境への負荷軽減.....	18
5 <国際協力に貢献する水道>	18
5-1 国際貢献	18
第 3 章 宝塚市水道事業の現状と課題.....	19
3-1 水需要の見通し.....	19
3-1-1 給水人口の動向.....	19
3-1-2 水需要の動向.....	20
3-2 更新需要の把握.....	21
3-3 事業の分析・評価.....	22
3-3-1 安全面.....	23
3-3-2 強靱面.....	24
3-3-3 持続面.....	25
3-4 経営の分析・評価.....	26
3-5 事業、経営の分析・評価における主な課題	31
第 4 章 将来像・基本理念・目標の設定	33
4-1 将来像.....	33
4-2 基本理念.....	33
4-3 目標の設定.....	34

4-3-1 安全面.....	34
4-3-2 強靱面.....	34
4-3-3 持続面.....	35
4-3-4 経営面.....	35
第5章 基本施策と具体的対策.....	36
5-1 宝塚市水道ビジョン2025の体系.....	36
Ⅰ 安全く安心して飲める水道>.....	38
Ⅰ-1 きめ細かな水質管理.....	38
Ⅱ 強靱く危機管理に対応できる水道>.....	40
Ⅱ-1 いつでもどこでも安定給水.....	40
Ⅱ-2 災害・事故への備え.....	41
Ⅲ 持続くお客さまから信頼され続ける水道>.....	44
Ⅲ-1 いつでもどこでも安定供給.....	44
Ⅲ-2 中長期的な水道事業運営.....	46
Ⅲ-3 職員の資質向上.....	47
Ⅲ-4 お客さま・利用者サービスの向上.....	48
Ⅲ-5 省エネルギーの推進.....	49
Ⅲ-6 環境への負荷低減.....	50
Ⅲ-7 国際貢献.....	50
Ⅳ 経営く健全な経営に支えられた水道>.....	51
Ⅳ-1 健全経営の推進.....	51
Ⅳ-2 効率的な健全経営.....	51
第6章 推進体制.....	54

第1章 宝塚市水道ビジョン2025の策定に当たって

1-1 策定趣旨

本市の水道事業は、7期にわたる拡張事業を行い、現在は武庫川右岸新水源開発事業（阪神水道受水事業）を実施しています。

本市では、これまで、水道水の安定給水を目指し、施設や管路等の整備事業を実施するとともに、業務の委託による人件費の削減や施設の統廃合などにより、健全な事業運営に努めてきました。しかしながら、人口減少や節水機器の普及などにより、水需要が減少に転じることが予想されています。

これに加え、昭和40～50年代に建設した多くの施設や水道管が、順次、更新時期を迎えるとともに、地震などの自然災害に対する対応力の一層の強化が強く求められており、水道事業をとりまく環境は、大変厳しい状況となっています。

このような中、国（厚生労働省）では、従来の水道ビジョンを全面的に見直し、50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、目指すべき方向性や実現方策等を示した「新水道ビジョン」を平成25年（2013年）3月に策定し、各水道事業体に対して、需要者のニーズに対応した信頼性の高い水道を次世代に継承していくために、「水道ビジョン」の策定を推奨しています。

本市においても、平成21年（2009年）2月に策定した「宝塚市水道マスタープラン」の計画期間が満了を迎えること、上記のように水道事業をとりまく環境が大きく変化したことを踏まえ、「宝塚市水道ビジョン2025」を策定することとしました。

1-2 位置付け

「宝塚市水道ビジョン2025」では、「第5次宝塚市総合計画」を上位計画とし、「宝塚市水道マスタープラン」の進捗の評価、現状の評価、分析、課題の明確化を行うとともに、国の「新水道ビジョン」の理想像である「安全」、「強靱」、「持続」に「経営」を加えた観点から基本施策と具体的対策を策定します。

また、併せて、「宝塚市水道事業経営戦略」を策定し、必要な財源とのバランスに配慮した中長期的な施設整備の方針を示します。

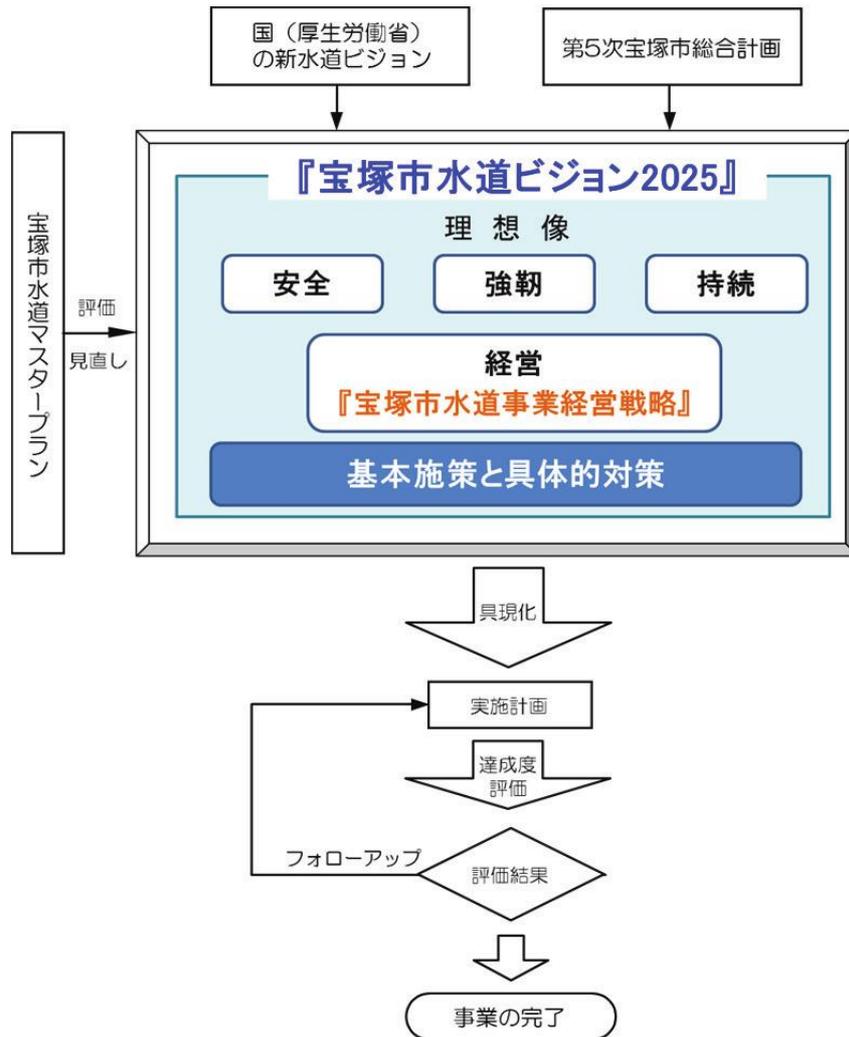


図 1.1 宝塚市水道ビジョン 2025 実施フロー

1-3 目標年次

目標年次は平成 37 年度（2025 年度）とし、平成 28 年度（2016 年度）から 10 年間で計画期間として取り組みます。